

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科	情報	科目	情報Ⅰ	学年	1年次	単位数	2単位
教科書	東京書籍 新編情報Ⅰ			副教材	なし		
レポート 添削指導	6通	スクーリング 面接指導	4回	メディア 視聴票	2通	試験	2回
指導 目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。						
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容	面接 回数	メディア(NHK高校講座)	
1	4月12日	5月22日	・表現メディアの違いによる メリットとデメリット ・問題解決の流れと発想法 ・情報モラル ・個人情報の流出 ・傷つかない傷つけないために	・情報の特性、さまざまなメディアの特性について ・問題を発見・解決するための一連の流れについて ・情報社会で生活していくための情報モラルについて ・情報社会の安全を守るための、法規や制度および個人の責任について	1	1 始めよう！ 情報Ⅰ ～問題解決のチカラ～ 2 ネット社会を楽しく 過ごそう！	
2	5月22日	6月19日	・著作権 ・情報技術の発展 ・情報化と私たちの生活の変化 ・よりよい情報社会へ	・著作権について ・引用の仕方を理解する。 ・画像処理や電子商取引などの新しい情報技術について ・人工知能やロボットなどの情報技術と生活の変化について ・情報化による健康への影響などの問題について ・サイバー犯罪などの問題について	1	3 ネット社会にも権利がある 4 デジタル革命とインターネット 5 ICTが創る未来とは？ 6 ネットで変わるコミュニケーション 7 よこそデジタルの世界へ！ 8 デジタルデータで表現しよう！ 9 情報デザイン 3つの コツとは？ 10 人を幸せにする情報デザインに挑戦！	
3	6月19日	7月17日	・コミュニケーション手段の変化 ・デジタルの世界へ ・デジタル表現 ・目的に応じたデジタル化 ・情報デザイン	・メディアとコミュニケーションの変遷について ・近年のソーシャルメディアによる人の繋がりについて ・ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について ・デジタルデータのメリットとデメリットについて ・2進法と情報の単位について ・文字、音、画像、動画のデジタル表現について ・データの圧縮について学習する。	1	11 コンピュータ大解剖 12 本当に賢い？ コンピュータ 13 プログラミングの基本をマスター！ 14 AI（人工知能）を作ってみよう！	
4	7月17日	10月29日	・ソフトウェアの仕組み ・演算の仕組みとコンピュータの限界 ・アルゴリズムの表現 ・プログラムの基本構造	・コンピュータの基本構成について ・ハードウェアとソフトウェアについて ・プログラムの動作の仕組みについて ・コンピュータの演算の仕方について ・コンピュータの処理のための基本的な回路について ・プログラムについて	1	15 シミュレーション で見える世界 16 コンピュータはなぜ つながる？ 17 インターネットを 使いこなそう！ 18 データ分析にチャ レンジ！ 19 データが社会を動 かす！ 20 データを武器に問 題解決！	
5	10月29日	11月27日	・モデル化とシミュレーション ・ネットワークとインター ネット ・インターネットの仕組み ・サーバとクライアント	・モデル化の考え方と、モデルの分類について ・シミュレーションによるモデルの評価について ・モデル化とシミュレーションにおける注意点について ・情報通信ネットワークについて ・プロトコルと、その1つとしてTCP/IPについて ・ネットワークを構成するハードウェアについて	1		
6	11月27日	1月23日	・データの形式 ・データベースの活用 ・さまざまなデータモデル ・コンビニデータベース ・データ分析の流れ ・目的に合わせたデータの利 用	・データとは何か、データの尺度とは何か ・データベースの役割について ・データベースで使用するデータモデルについて ・データ分析の流れと方法について ・分析の目的に合わせたデータの利用方法について	1		
学習の成果に係る評価規準							
【知識・技能】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めることができるか。							
【思考力・判断力・表現力】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解し、思考することができるか。							
【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画することができるか。							
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。 ○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。							
単位の修得の認定に関する基準							
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。							